

すぐに! 親身に! 誠実に!

芦屋市議会議員

たはら としひこ
田原 俊彦

1983年3月 創価大学法学部卒業

2002年12月 三井住友銀行退職(約20年在職)

2003年4月 芦屋市会選挙で初当選、現在5期目

防災士 ひょうご防災リーダー 全国手話検定5級 お客様対応専門員(CAP)

ユニバーサルマナー検定3級 メンタルヘルス・マネジメント検定Ⅲ種



第62号 2021/8月発行

令和3年6月 第2回定例会のご報告

1

ワクチン接種 市長に緊急要望を

広報臨時号の発行・電話回線の増設 実現に



芦屋市議会公明党は、ワクチン接種が本格的に始まる前の5月10日(写真左上)、同月21日(写真右下)の2回にわたり、芦屋市長に新型コロナワクチン接種に関する緊急要望書を提出しました。

ワクチン接種に対する市民の関心は非常に高く、多くの市民の皆様の声を市長に届け、安心して安全に、スムーズに接種できる体制を求めました。

要望では、ワクチン予約受付体制の拡充、広報誌の臨時号など紙媒体を使つての情報提供、コールセンターの電話回線の増設などを求めており、その後広報臨時号は2回発行(7/28現在)され、電話回線数は、8回線から21回線に増設されました。

今後も、接種事業が迅速に、そして安心・安全に進むように継続して取り組んでまいります。

2

市幹部によるパワハラ問題

伊藤市長に問責決議 可決へ

芦屋市幹部によるパワハラ問題は、外部による第三者委員会が、昨年11月から調査を実施。同委員会は5月に調査報告書を発表しました。

報告書は、市長のパワハラに対する意識の欠如、ハラスメント指針に基づかない対応があったと指摘しています。さらに市長がパワハラを疑われる情報を得たときでも、本格的な調査を命じず、市が行った内部調査委員会については「中立性、公平性、客観性に疑問が生じうる」と批判しています。

このように、パワハラ問題に対する市長の責任は大変重く、議会として伊藤舞市長に対する問責決議を賛成多数で可決しました。

● 芦屋市新型ワクチンコールセンター

電話: 0797-31-0655

平日: 9:00~17:30 土日祝: 10:00~18:30

ワクチン接種の予約等についてのご相談は、上記のコールセンターをご利用ください。

● 兵庫県新型コロナワクチン専門相談窓口

電話: 0570-006-733

平日・土日祝: 9:00~17:30

医学的な知見が必要となる専門的な相談など。

● ワクチンパスポート申請窓口

電話: 0797-31-0655

芦屋市保健福祉センター3階



Topics

トピックス

生理用品の無償配布が実現！

コロナ禍で、生活が困窮し、若い女性の中には生理用品を買うことができないとの調査結果を受け、芦屋市議会公明党は、3月19日市長に緊急要望を行いました。市が、防災用として備蓄している消費期限が近い生理用品を、必要な方に活用してほしい、というものです。

この公明党の要望を受け、市は6月より防災備蓄品にあった生理用品を無償配布することを決定。

男女共同参画センター、保健福祉センターの各受付窓口意思表示用のカードを設置し、カードを提示することで「生理用品」に加え「防災備蓄のアルファ化米」、「女性の悩み相談など相談窓口チラシ」を配布しています。これからも、小さな声を政策につなげていきたいと思ひます。

芦屋市人権・男女共生課 電話 0797-38-2023



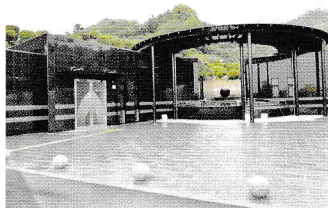
合葬式墓地 募集が始まる

7月1日から、芦屋市合葬式墓地の募集が始まりました。合葬式墓地とは、焼骨を個人・夫婦・家族などの単位で納骨する一般墓地や納骨堂とは違い、他の方々と一緒に納骨するお墓のことです。詳しくは芦屋市ホームページ

をご覧ください。

芦屋市環境課

電話：0797-38-3105



一般質問で訴えた内容の一部を報告します

3

地域防災力の向上について

小学校区で防災会議設置を

これまでも取り上げてきましたが、小学校の単位で〇〇小学校防災会議の設置を訴えました。会議には、学校、学区内の地域関係者（自治会・自主防災会・福祉委員会など）が参加。地域内で予測される災害の備えについて協議します。学区内であると起こりうる被害想定が似通る、顔の見える関係づくりにもつながります。

市は「地域防災力向上に有効であり、教育委員会と連携して、進めていく」との前向きな答弁をしました。さらに災害時に、ひとりでは逃げるのが困難な方（災害時要援護者）に対する支援を、自主防災会だけの取り組みにはせずに、福祉専門職との連携の必要性を訴えました。

4

行政としての災害時の備えについて

市は、万一に備え、ドラッグストアと防災協定を結び、物資の確保をすべきと提案しました。自助、共助はもちろん必要ですが、広域で大規模な災害が起こった時には、市の防災備蓄品だけでは限界があります。ドラッグストアと防災協定を結ぶことで、日用品などの安定的な供給が期待できます。答弁は、「有用と考え、検討する」とありました。

☆北極星☆

ワクチン接種について、市議会民生文教常任委員会で、市長に要望書を提出しました。委員会が、一致して市長に要望を出すことは、芦屋市議会として初めてです。ワクチンに関する市民の関心の高さから、議員には、さまざまな声が届いています。要望書には、正確な情報の発信に努め、接種にかかる事故防止の視点でダブルチェックの実施、さらにワクチン接種を希望しない方や希望しても接種できない方に、差別やいじめが起きないように、人権への配慮を十分行うことも盛り込んでいます。



公式 HP

SNSで活動を配信中!

過去の活動も
ご覧頂けます。



友達追加はこちらで